研究キーワード
花, 昆虫, 送粉

笠木 哲也

准教授

KASAGI, Tetsuya

所属…環境学部 環境学科
大学院 環境経営研究科 環境学専攻

E-Mail kasagi-t@kankyo-u.ac.jp

Profile

■主な担当科目　植物学概論, 生態学基礎, 生態学概論：以下分担で自然環境保全概論, 鳥取学, 生物学実験, 自然環境保全実習･演習A及びB

■研究者略歴

1992（平成 4）年 3月	宇都宮大学農学部卒業
1992（平成 4）年 4月	(株)カーター・アート環境計画 (現 (株)環境・グリーンエンジニア)
1997（平成 9）年 3月	北海道大学大学院地球環境科学研究科博士前期課程修了
2002（平成14）年 9月	北海道大学大学院地球環境科学研究科博士後期課程修了
2004（平成16）年10月	金沢大学地域連携推進センター研究員（～2015年3月)
2006（平成18）年 4月	金沢大学環日本海域研究センター研究員（～2016年3月)
2007（平成19）年 4月	石川県立総合看護専門学校非常勤講師（～2014年9月)
2013（平成25）年10月	石川工業高等専門学校非常勤講師（～2015年3月)
2015（平成27）年 4月	遊学館高等学校講師（～2016年3月)
2016（平成28）年 4月	公立鳥取環境大学環境学部准教授
2016（平成28）年 6月	公立鳥取環境大学環境経営研究科環境学専攻准教授

Research

■取得学位　博士（地球環境科学／北海道大学）

■専門分野　植物生態学，送粉生態学，ハナバチ類

■現在の研究テーマ
・植物の繁殖特性と送粉昆虫の行動の関係
・ハナバチ類の分布と送粉ネットワーク構造

■所属学会　日本生態学会，種生物学会，日本森林科学会

Data

■研究等活動

【論文】
・Variation in flowering plant - bee linkages following experimental restoration of satoyama paddy fields. International Proceedings of Chemical, Biological and Environmental Engineering, 2017. 102 (共著)
・外来植物が在来植物とハナバチ類の関係に及ぼす影響. 日本海域研究, 2015. 46: 43-48 (共著)
・加賀地域の標高経度に沿ったハナバチ相の比較. 2013. 日本海域研究, 44: 1-9 (共著)
・能登半島と佐渡島におけるハナバチ類の種組成と分布. 2012. 日本海域研究, 43: 9-17 (共著)
・Habitat-species responses of alpine plants to climate amelioration: comparison of fellfields and snowbed communities. Arctic, Antarctic and Alpine Research, 2011. 42: 438-448 (共著)
・A hybrid zone dominated by fertile F1s of two alpine shrub species, Phyllodoce caerulea and Phyllodoce aleutica, along asnowmelt gradient. Journal of Evolutionary Biology, 2008. 21: 588-597 (共著)
・Eight microsatellite markers for sympatric alpine shrubs, Phyllodoce aleutica and P. caerulea (Ericaceae). Molecular Ecology Notes, 2006. 6: 402-404 (共著)
・Interspecific pollinator movements and heterospcific incompatibility: comparisons between Phyllodoce caerulea and Phyllodoce aleutica along snowmelt gradients. Evolutionary Ecology Research, 2005. 7: 73-87 (共著)
・Variations in bumblebee preference and pollen limitation among neighboring populations: comparisons between Phyllodoce caerulea and Phyllodoce aleutica (Ericaceae) along snowmelt gradients. American Journal of Botany, 2003. 90: 1321-1327 (共著)

【研究発表】
・ウコギ科カクレミノにおけるシュート構造と葉形質の光環境への応答. 2019. 日本生態学会，第66回大会（共同）
・鳥取県東部瀬戸川におけるバイカモのパッチ動態と開花結実状況. 2019. 日本生態学会，第66回大会（共同）
・鳥取県東部地域のコナラ二次林における中低木層の種子散布：自然落下と鳥散布. 2018. 日本生態学会中国四国地区会，生物系三学会合同大会（共同）
・ウコギ科カクレミノにおける個葉形質の変異と光環境の関係. 2018. 日本生態学会，第65回大会 (共同)
・ニホンジカの生息密度と植生被害タイプの関係. 2018. 日本生態学会，第65回大会 (共同)
・鳥取県東部地域におけるナラ枯れ後の落葉樹の分布パターン. 2017. 日本森林学会，第128回大会 (共同)
・ツリフネソウにおける訪花昆虫相の違いと送粉成功の関係. 2014. 日本生態学会，第61回大会 (共同)
・Comparison of flowering plant-bee linkages between two types of satoyama habitats in Kanazawa, Japan. 2013. Entomological Society of America, Entomology 2013 in Austin (共同)
・農地生態系において外来植物の開花が在来ハナバチ相に及ぼす影響. 2011. 応用動物昆虫学会，第55回大会 (共同)
・植物群集の開花フェノロジーとハナバチ相の関係に対する外来植物の影響. 2011. 日本生態学会，第58回大会 (共同)
・Biodiversity and ecosystem in Noto Peninsula: perspectives from satoyama and satoumi. 2010. The 4th International Symposium on Environment of Rim of the Japan/East sea (単独)

■社会貢献活動

・鳥取市環境審議会／委員 (2016～)
・鳥取県環境審議会／委員（2019～2022）
・日本生態学会中国四国地区会／会計幹事（2018～2022）
・白山自然保護調査研究会／幹事 (2015～2017)

分野　環境保全・資源管理

キーワード　花／外来植物／送粉昆虫／森林／大山／シカ食害

環境保全、生態系管理、森林管理の研究

環境学部 環境学科
大学院 環境経営研究科 環境学専攻
准教授
笠木 哲也
KASAGI, Tetsuya

SDGs 関連項目

研究内容

花とその花粉を運ぶ昆虫の関係、植物の繁殖生態学などが専門。特に、県内の森林や海浜、大山などの山岳地帯などで、開花植物とハナバチ類の関係を調べている。

応用分野

野生植物の保全、森林保全、動植物調査、環境教育

取組実績

赤石山銅山峰のツガザクラ保全に協力（愛媛県新居浜市）